



3・燦・SUN ~認め合う・話し合う・創り出す~

The important thing is not to stop questioning. (Albert Einstein)

高密度の3日間~修学旅行を振り返るvol.2~

☆☆☆嵐のようなチェックイン☆☆☆

4時30分頃、ホテルで待機していたJTBの添乗員から「男子が3人ホテルに来ていて、疲れたので早めに部屋に入りたいと言っていますが」という電話が。「???」と思いつつ電話を替わってもらい、「あれ、本部に来て時間の変更連絡したっけ?」と聞くと、「…いいえ」という返事。一度パークに戻ってきてもらい、ゲート前でしおりを開いて読んでもらいました。「ホテルに帰る時間を変更する時は部屋のメンバー全員で本部に来てその旨を告げること」。朝学習の時間まで使って何回も確認したのに…肝心なところが頭に入っていないのは痛い。こちらも予定の変更を迫られることになり、3人と一緒に早めにホテルに向かうことになったのでした。

☆☆☆長い夜の始まり☆☆☆

ディズニーアンバサダーホテル 2F に特設チェックインカウンターを設けて皆さんを待つことになりました。準備はすでに添乗員の方々が行ってくださっていました。到着するグループが増え始めます。パーク内の本部からは「〇班がホテルに戻る時間を変更」という連絡がひっきりなし。あらかじめ決めていた教員のシフトをその都度変更して対応しました。チェックインの時に確認すると、本部に連絡せずにホテルに戻ってきている班が多いことに驚かされます。その他、歩いて戻ることになっているのにシャトルバスで帰ってきたり（このグループにもしおりを開いてもう一度読んでもらおうと「あ、ほんとだ」という反応）、パークを出る時にグループがバラバラになり1時間ほどしてようやくホテルで合流した班やパーク内のコインロッカーに荷物を入れたまま帰ってきてしまい、もう一度戻った人がいたりしました。

最後の班が9時45分過ぎにチェックインして全員がホテルに到着。お疲れ様でした。慌ただしい1日でしたが、どうぞホテルライフを満喫してくださいね。

部屋はさすがのクオリティー。皆さんは自分の部屋しか分からないと思いますが、実は部屋ごとにレイアウトなどが違っていたのです。ちょうど復活祭を祝うディズニー・イースターの真っ最中。イースターの象徴である「卵」にちなんだグッズを見つけることができました。

消灯時間の10時30分に教員が各部屋を回って

確認、夜の巡視が始まりました。ホテルは、不特定多数の人が出入りするため、思わぬことが起こることがあります。セキュリティには万全を期さなければなりません。中には12時を過ぎてもテレビの音が聞こえてくる男子の部屋がありました。確認してみるとすでに全員が寝ている状態。部屋の明かりも付いたままでした。

☆☆☆2日目がスタート。天気は…☆☆☆

5月12日(火)朝6時。各部屋で動き出す気配がし始めます。6時30分にモーニングコールが鳴り、いよいよ活動開始。本日の主な日程はグループ別自主研修。まずは7時30分から朝食です。食事の様子を見ていると、結構おとなしいなあと思いましたが、そこはさすが郡中生。食べて、おかわりをしてエネルギー補給をしているうちに元気回復、自主研修に出発していきました。この日、首都圏には台風6号が接近しており、チェックインの時間帯に雨が降り出す予報となっていたのでした。(to be continued)

市中総体まで24日…目標を切り替える!

先週金曜日、そして今週月・火曜日と、欠席・早退が実に多くなっています。修学旅行であれだけハードな日程をこなしたのですから、疲れているはず。早く元気になってください。

とはいえ、普段通りの学校生活を送っている人がほとんどであることもまた事実。その人たちは、週末も部活動で体を動かしています。集中力は体力です。

皆さんは「エース」という言葉を聞いたことがありますか。チームの大黒柱、点取りや、ゲームメーカーのことですね。エースは、疲れていても傷ついていてもチームを勝利に導かなければなりません。それがエースの役割なのです。

カエルさんからのメッセージ

僕はカエルです。昨日の朝、2Fの男子トイレにいたところを、3組の湯浅日向くんが優しくつかまえて1Fから外に逃がしてくれました。どうもありがと。

僕たちは、こう見えて厳しい生活をしています。オタマジャクシからカエルになるときに死んでしまうこともよくあるのです。

学校の周りに僕の仲間がいますから、どうか踏まないようにしてくださいね。

